

# こうべ山の小学校プログラム報告

## 「モリノヒミツキチ」

2026年1月24日（土）、冬の澄んだ空気の中、こうべ山の小学校「モリノヒミツキチ」を開催しました。今回は午前・午後合わせて19家族、総勢60名（大人25名、子供35名）の皆さまにご参加いただき、冬の森ならではの自然体験を楽しみました。

活動の最初のプログラムは、森にあるものだけで作るサバイバルシェルター「デブリハット（落ち葉の家）」作りです。まずは太い枝を組み合わせせて骨組みを作り、その上から大量の落ち葉をふかふかに積み上げて断熱性を高めていきます。子供たちは小さな手で一生懸命に落ち葉を運び、中には森の中で見つけた「アオキ」の枝を拾ってくる子もいました。アオキの光沢のある緑の葉と鮮やかな赤い実は、茶色の落ち葉の家を彩る最高のデコレーションに。自分たちだけの秘密基地を素敵に飾り付け、完成した家の中に潜り込むと、自然のぬくもりに包まれた空間に歓声が上がっていました。



拠点作りで森に慣れた後は、第2のプログラム「宝探しゲーム」のスタートです。配布された地図を頼りに、広大な森のあちこちに隠された8枚の文字パネルを探し出します。子供たちは斜面を軽やかに駆け上がり、切り株の裏や茂みの奥を熱心に探索。親子で知恵を出し合いながら全ての文字を集め、正解の言葉を導き出し宝箱にたどり着きました。正解の言葉は「みっきーのぼうし」みっきーの帽子の上の宝箱をみつけ、子供達には「バッチ」をプレゼント。

事後アンケートでは、「小さな子供でも無理なく楽しめ、親も勉強になった」「自然と触れ合う機会が少ない中、ふかふかの落ち葉に触りながら夢中で遊ぶ子供の姿が見られて嬉しかった」といった大変温かいお声を多くいただきました。

モリノヒミツキチが運営するこうべ山の小学校は、今回のプログラムをもっていったん終了になります。これまで共に笑い、共に学んだ時間は、私たちスタッフにとってもかけがえのない宝物です。本当にありがとうございました。

報告作成：企画運営者モリノヒミツキチ

